

平成25年度 公共事業再評価調査

(区分) 国補・県単

1. 再評価調査

事業名	林道事業 [森林基幹道開設事業(国補)]		事業箇所	山梨市	地区名	塩平徳和線(西区間)	事業主体	山梨県												
	当初計画	現計画	今回見直し予定																	
計画期間	S61~H25	—	S61~H27																	
総事業費	1,675百万円	3,600百万円	3,833百万円																	
(1) 事業の概要																				
<p>①事業目的及び効果</p> <p>本路線西区間は、山梨市牧丘町の鼓川左岸流域と琴川右岸流域の広大な森林地域を管理経営する骨格的な林道であり、起点は山梨市牧丘町塩平地区の県道塩平窪平線に接続し、終点は山梨市牧丘町杣口地区の県道柳平塩山線に連絡する。</p> <p>本路線西区間の利用区域は937haであり、スギ・ヒノキ・カラマツ等の人工林面積は775haで、人工林率は82.7%となっている。</p> <p>将来、幹線である本路線と既設林道(小樽山線、小倉山線)が支線として結合し、広域的な林内路網のネットワークを形成することにより、人工林の豊富な資源活用はもとより、森林の適正な整備による水源かん養、国土保全等の機能向上も期待される。</p>					<p>⑤再評価時の評価状況</p> <p>(平成20年度再々評価)</p> <p>西区間については、コスト縮減と時間管理を徹底し、見直し計画どおり平成25年度の完成に努められたい。また、東区間については、用地交渉の見通しが立った時点で、あらためて費用対効果の検証等を行い、開設の必要性を評価し、方針を定めることとされたい。</p>															
<p>②事業概要</p> <p>森林基幹道 計画延長 14,330m 幅員 5.0m 利用区域面積 937ha 森林資源蓄積量 97,139m³</p>					<p>(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化]</p> <p>①地域・住民の意向状況</p> <p>当該林道が全線開通することにより森林整備が促進され、公益的機能の向上や林業経営の健全化が期待されるとともに、山村地域の活性化にも重要な役割を果たすものとして事業の促進を強く要望する。(山梨市長の意見)</p> <p>②産業・経済情勢</p> <p>木材価格の低迷など林業の採算性の低下により、生産者の意欲は減退している。県産材を低コストで生産し、安定的に供給するための取り組みが必要となっている。</p> <p>③国等の方針変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林・林業基本計画 <p>国は平成23年7月に「森林・林業基本計画」を策定し、10年後の木材自給率50%以上を実現するため、路網整備の加速化などにより、林業の持続的かつ健全な発展を実現することとしている。</p> <p>④上位計画・関連事業計画等の変更</p> <ul style="list-style-type: none"> 富士川上流域森林計画(平成24~33年度) やまなし森林・林業再生ビジョン(平成24~33年度) 山梨県林内路網整備計画(平成23~35年度) 															
<p>③全体計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度まで</th> <th>平成25年度 (評価実施年度)</th> <th>平成26年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事内容</td> <td>林道開設 12,929m</td> <td>林道開設 380m</td> <td>林道開設 1,021m</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>3,353百万円</td> <td>160百万円</td> <td>87百万円</td> </tr> </tbody> </table>						平成24年度まで	平成25年度 (評価実施年度)	平成26年度以降	工事内容	林道開設 12,929m	林道開設 380m	林道開設 1,021m	事業費	3,353百万円	160百万円	87百万円	<p>⑤自然環境条件等の変化</p> <p>なし。</p> <p>⑥その他</p> <p>なし。</p>			
	平成24年度まで	平成25年度 (評価実施年度)	平成26年度以降																	
工事内容	林道開設 12,929m	林道開設 380m	林道開設 1,021m																	
事業費	3,353百万円	160百万円	87百万円																	
<p>④特記事項</p> <p>本路線は、地元の要望により県代行工事として実施しており、山梨市の広大な森林において、県道や他の林道を連絡する幹線としての活用を期待されている。</p>					<p>(3) 評価項目 [再評価時点の費用対効果分析]</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業採択時計画における事業全体B/C(昭和61年度)未算出 再評価時計画における事業全体B/C(平成10年度)未算出 再々評価時計画における事業全体B/C(平成15年度) 1.11(全区間) 再々々評価時計画における事業全体B/C(平成20年度) 1.17(全区間) 再々々々評価時計画における事業全体B/C(平成25年度) 1.10(西区間) <p>林野公共事業における事前評価マニュアルにより算出。</p>															

2. 再評価調書

(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]

① 計画変更等の概要

平成15年度

地権者との用地交渉により路線変更を行ったため、全体計画延長及び総事業費を次のとおり変更した。

		計画延長	総事業費
当初	西区間	12,280m	1,617百万円
	東区間	7,270m	957百万円
	全体	19,550m	2,574百万円
変更	西区間	14,330m	3,600百万円
	東区間	7,270m	1,538百万円
	全体	21,600m	5,138百万円

平成20年度

東区間の用地交渉の難航から、進捗の順調な西区間を先行させ、計画期間内に完成させることとし、東区間については、用地交渉の見通しが立った時点で、着手を判断することとした。

西区間：計画期間S61～H25 計画延長14,330m 総事業費3,600百万円

② 施行済みの事業内容

全体計画のとおり。

③ 進捗率

	*平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
計 画	65	72	79	86	93
実 績	65	70	76	85	90

	平成25年度				算出方法
計 画	100				計画延長/総延長×100
実 績	93				実施延長/総延長×100

*再々々評価実施年度

④ 事業の進捗が順調でない理由

当該区間は、接続する県道、林道等から進入できる4工区での開設工事により早期完成を目指したが、急峻な地形や脆弱な地質のため開設延長が延びなかった。さらに、不在村地主などとの用地交渉・立木補償交渉において、工事中止を余儀なくされたことにより、全体工程に遅れが生じた。

⑤ 今後の事業執行上の問題点

なし。

⑥ 今後の事業の進捗の見込み

用地問題を解決したうえで、林業施業に効果的な線形となるよう計画線形を変更するため、地形の急峻な場所を通過することとなるが、総事業費を見直し、計画期間を延長することにより事業は完了する見込みである。

⑦ 事業計画の変更の見込み・可能性

計画線形の変更に伴い、計画期間を2年延長し、総事業費を増額する。なお、現地精査の結果により計画総延長を減じる。

	計画期間	総事業費	計画延長
現計画	S61～H25	3,600百万円	14,330m
見直し後	S61～H27	3,833百万円	14,059m

(5) 評価項目 [環境への配慮]

地形の改変を極力少なくする路線計画とし、切土・盛土法面については在来種を主体とした確実な緑化による保全を図り、良好な自然環境の維持及び景観に配慮した計画となっている。

(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性]

地形に合った平面・縦断線形をとり、法面、路側構造物等を縮小する。切盛土量の収支均衡を図り、土工事のコストを縮減する。また、急峻な地形においては路肩の縮減を行う。

(7) 評価項目 [代替案立案の可能性]

事業の目的を達成するためには当路線の開設以外に方策はない。

(8) 所管部の今後の方針

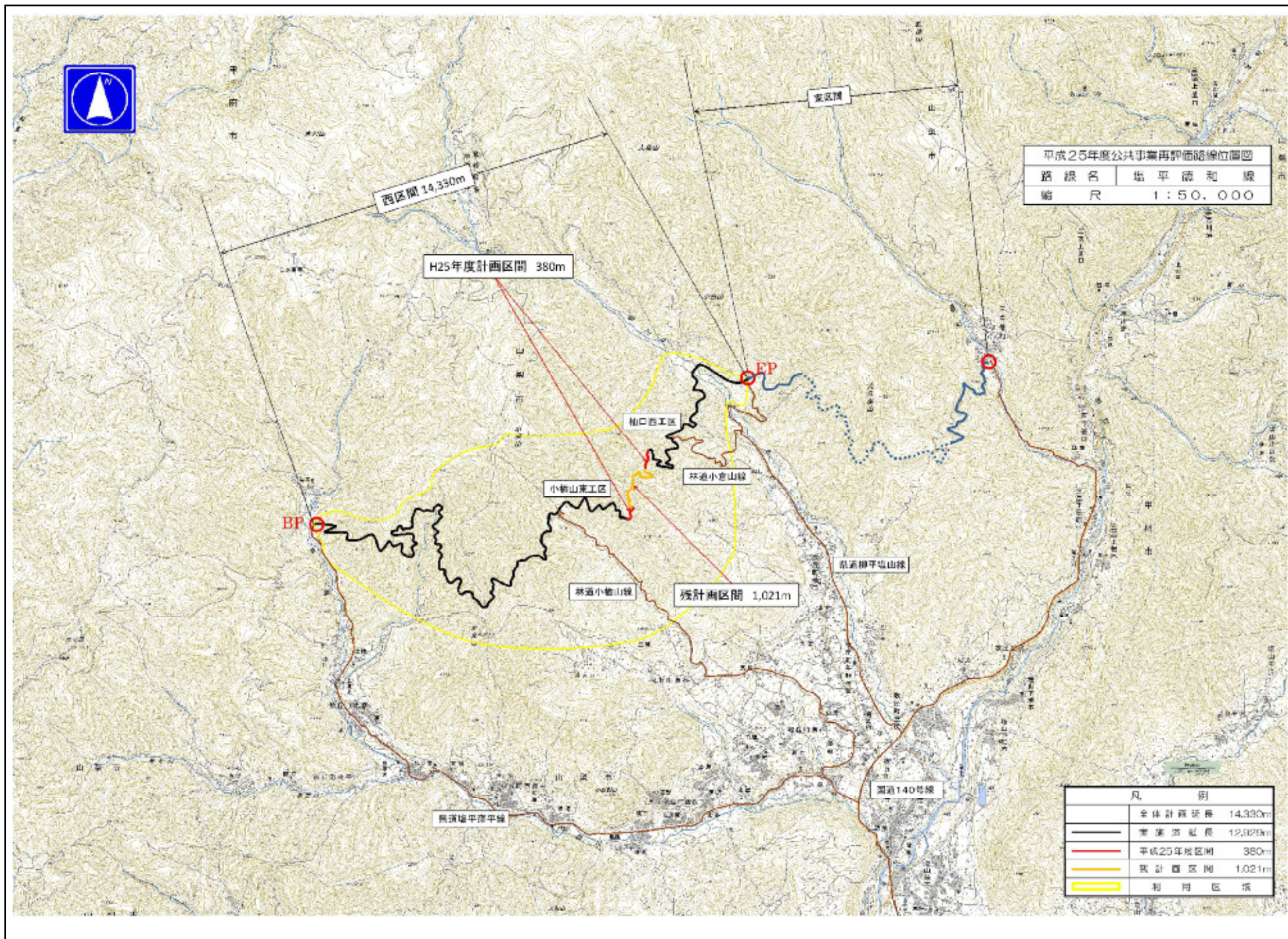
継続 **見直し継続** その他 ()

(理由)

本路線は幹線林道として、地元からの開設要望も強い。森林整備のみならず地域の振興・活性化にも効果発揮が期待されるため、2年間の計画期間延長と事業費の変更を行い、事業を継続する。

また、東区間については、引き続き山梨市と伴に用地問題の早期解決に努め、見込みが立った時点で事業評価を行い着手を判断する。

3. 添付資料シート（1）





計画地遠景



林道沿線の要整備森林の状況



林道沿線の要整備森林の状況



林道開設区間と周辺の森林整備状況